

## サニーサイドの画家たち展&巡回展

### サニーサイドの画家たち ～オープニングセレモニー～

厳しい暑さと不安定な気候が続いた夏の真っ只中、8月1日（火）～10日（木）にかけて、アール・ブリュット作家たちの作品を展示した「サニーサイドの画家たち展」がサニーサイドにて開催されました。この展示会は、利用者の絵画作品の紹介や当法人のアール・ブリュット事業の推進を目的として開催したもので、8月1日にはギャラリーのお披露目と作家の紹介を兼ねてオープニングセレモニーも行われました。セレモニーでは、キュレーターの藏座江美様によるギャラリー解説を行い、障がい者芸術やアール・ブリュット事業についてより深く知っていただく機会をつくることができました。また、私たち職員の成長やアート活動への熱意にも触れてくださり、嬉しい気持ちと共にこれからの取り組みに対して自信が湧いてきました。

10日間でご来場いただいたお客様の数は90名を超え、小さな会場ながらもたくさんの方に絵画鑑賞をしていただくことができました。一つの絵を集中して見つめるお客様や、額装についてご興味を持たれる方、塗りこみの細部を間近で観て感心したように頷いていらっしゃるお客様など、それぞれの感性と感覚を持って絵画展を楽しまれる様子も見られました。また今回、近くにお住まいの方と一緒に絵画鑑賞をすることがきっかけとなって近況報告などの沢山の会話に繋がったり、普段施設を訪れる機会がなかった方々にもお越し頂いたことは、想像していた以上の影響を感じ得るとともに心から開催して良かったなと思えました。

サニーサイドの画家たちは歩み始めたばかりです。作家たちの絵画を楽しむ気持ちと、上手に描きたいという向上心をより引き立てながら、利用者と職員で今後もアール・ブリュットの取り組みを進めてまいりますので、温かく見守り応援していただけたら嬉しいです。  
(主任 大森 天登武)

### ドゥ・アート・スペース

8月23日（水）～9/6（水）の2週間、お菓子の香梅光の森店のドゥ・アート・スペースをお借りして「サニーサイドの画家たち巡回展Vol.3」を開催しました。その名の通り巡回展の開催は今年で3年目となり、その年によってテーマを持って展示に工夫を凝らしてきました。今年はチャレンジの意味も込めて、平山さんの代表的な花の絵を10点、1ヶ所に凝縮して展示を試みました。私は、様々な色の使い分けも十分に味わうことができ、1枚でも力のある平山さんの作品の長所がより際立ったように感じました。今回、展示スペースの提供にご協力頂きましたお菓子の香梅光の森店様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

(主任 大森 天登武)



熱心に鑑賞されていました



本番前から緊張の面々（笑）



キュレーターの藏座様からご解説いただきました!!



〈アール・ブリュット事業について〉  
サニーサイドの画家たち展&巡回展

〈イベント〉  
レクレーション大会、納涼祭

〈サニーサイドでの実習を終えて〉  
大学実習生インタビュー

〈外出支援〉  
楽しいお出かけ盛りだくさん



美しい花の絵を中心にレイアウト

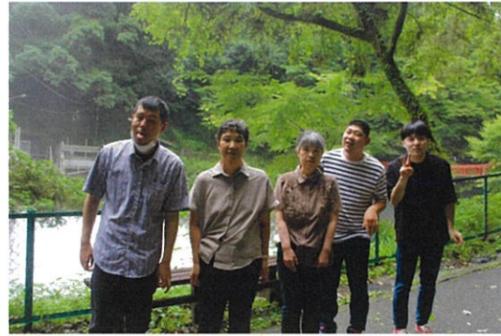


展示風景

## 絵画制作 in 菊池溪谷

8月13日にワークセンターの利用者の方と絵画活動の一環で菊池溪谷に行ってきました。木々や溪流など普段触れる事の少ない自然豊かな題材に各々が見て感じとった事を思い思いに画用紙に描き、楽しんで作品製作に取り組んでいます。製作後は昼食をとり散策をしたり、談笑したりと良き外出になった様でした。今後も四季折々が感じられる場所や美術館など絵画がより一層楽しめる外出を実施していこうと思います。

(主任 中山 綱将)



## 6/30 レクレーション大会

今年度は施設入所、ワークセンター、アトリエSUNそれぞれで利用者の方の健康状態に合わせた競技を企画し、レクレーション大会を開催しました。施設入所はキックボリングや景品掘り取りゲーム、ワークセンターではグランドゴルフ、アトリエSUNでは野球を行いました。賑やかな雰囲気になるよう、飾りの大きさを去年より多くしたり、数を増やしたりと工夫しました。普段と違う雰囲気を楽しみながら皆さん積極的に競技に参加され、応援にも熱が入りました。競技終了後は表彰式を行い、賞状を受け取ると、カメラに向かってにっこりと笑顔で応えて下さいました。



## 管理栄養士からのお便り

サニーサイドでは、自治会やアンケートを通して、食事量、味付け、食べたい献立等の確認をおこない、可能な限りの要望を食事に反映させています。利用者の方に人気の献立は、「ラーメン」、「おでん」でした。要望のあった献立以外でも、少しでも色々な料理に触れ豊かな食生活を送って頂けるよう料理の提供を行っています。提供の際には料理に関する説明等も行っています！

(管理栄養士 大森 晴稀)



## 8/10 納涼祭

今年の納涼祭はお祭りを感じてもらえるようお神輿を作成し、職員でかつぎました。縁日では、射的・輪投げ・金魚釣りの他に新しく紙飛行機飛ばしを行いました。縁日を回りスタンプを集め、最後にカードと交換でラムネを飲みました。どの縁日でも皆さんの真剣な表情や笑顔を見る事が出来ました。ラムネも自分で開けられる方は自分で開けてもらい、楽しそうな様子でした。朝顔の飾り付け等、利用者の皆さんで作った飾りもたくさんあり、楽しい夏の一日になりました。



## 外出支援 ～楽しいお出かけ盛りだくさん～

ドライブがメインだった外出支援も、新型コロナウイルス感染症がら類に移行後は、降車しての買い物などの外出を再開しています。自治会で利用者の方からお聞きした要望をもとに、毎月の外出支援の計画を立てています。これまでにしまむらやサンキ、ゆめタウン光の森をはじめ、ニシムタやダイソーなど、多くの外出先に行きました。久しぶりのお買い物を楽しんでいる様子で、商品を手に取りながらじっくりと選んでいました。今後も利用者の皆様の要望をお聞きし、より一層楽しんでいただける外出支援を実施していきます。



職員と相談して服を選びます！



ダイソーでの様子



第一生命様主催のマルシェにも参加



ピクニックin鴨川公園



ドライブ日和で笑顔が止まりません！

## 支援事例報告

「小さな変化に目を向けて」

Aさんは石鹸やシャンプーなど泡立つものが好きですが、入浴も好まれて、毎回楽しそうに入られていたAさんですが、突然入浴ができなくなってしまったことがありました。入浴の声掛けを行うと、着替えなどを準備して脱衣所までは入れますが、浴室への誘導は嫌がりお風呂の中に入ることができない状態でした。要因は季節の変わり目であったり、日常の小さな変化によるこだわり行動であったり、様々な可能性を考えられます。そこで、本人の「好き」なことにスポットライトを当てて、浴室に入る際は職員が付き添い、新しい入浴道具を購入して、入浴に興味を持てるよう支援を行いました。支援員が付添いながら、泡立つスポンジやシリコン製のマットを見せると、自ら進んで浴室へ入ることができ、シャンプーやボディソープを泡立てて嬉しそうに身体を洗っていました。その後は入浴を嫌がられることもなくなり、楽しそうに入浴道具を使用されています。今後もAさんの小さな変化にもしっかり対応し、安心して入浴できるよう支援を続けていきます。

(支援員 大友 悠平)



「楽しく、そして健康に」

Bさんは緩やかな腎機能の低下が見られており、運動による腎機能の維持・改善をする必要がでてきました。Bさんの運動量を増やす為にどうしたらいいか、Bさん本人と話をしながら運動の内容を考えていきました。1週間の運動メニューの作成と合わせ、Bさんの意欲向上に繋げる為スタンプカードを作成し運動メニューに参加することにシールを貼り、1週間シールを貼れたら金曜日に好きなジュースを購入するというルールを作りました。シールはBさんが好きな猫の絵柄の物にしました。

支援を始めると徐々に意欲的に運動に取り組めるようになり、本人より「体操ばしましたよ。どこにシールを貼りましたか」と支援員に話しかけて下さるようになりました。また、以前は椅子に座ったり眠ったりすることが多かったのですが、体操の時には率先して椅子から立ち上がったたり、ウォーキングの際には「もう一回行きましょうかね」と本人から申し出たりと、日中の運動量が増えました。体重も支援開始時より2kgの減量をする事が出来ました。今後もBさんが長く健康で楽しく過ごせるよう、継続して支援をしていきます。

(支援員 井手 佳寿美)



## 大学実習生インタビュー

ソーシャルワーク実習に、九州看護福祉大学と熊本学園大学より1名ずつ実習生が来ました。サニーサイドのソーシャルワーク実習は、社会福祉士の資格取得に向けた「ソーシャルワーク実践の場の提供」と「福祉人材の育成」を目的としています。そこで今回実習生の2人にインタビューしました。



横手さん(九州看護福祉大学)



竹内さん(熊本学園大学)

①自己紹介をお願いします ②今回の実習で学んだことを教えてください ③今後の目標を教えてください

横手さん

①九州看護福祉大学社会福祉学科3年の横手流水音です。大学では、社会福祉士の資格の取得を目標として、ソーシャルワークの理論や福祉に関係する法制度などを学んでいます。ゼミでは、障がい者や高齢者の社会参加の促進を目的とした活動をしています。現在は、荒尾市社会福祉協議会にご協力頂きながら、高齢者向けのLINE講座プロジェクトを企画しており、11月から実行する予定です。

②栄養管理委員会等の会議に同席することや、支援学校のアフターフォローに同席することで、多職種連携理解することができました。施設内外の方々がそれぞれの立場から意見を提案することで、柔軟な支援を実現しているのだと学びました。また、利用者の方々と関わる際には、障がいの特性に応じたコミュニケーションを意識しました。特に、自己決定を支援するために非言語的コミュニケーションを意識し、言語以外の部分にも注目することが大切であると学びました。

③私は、将来的に障がい者支援に携わりたいと考えていますが、具体的にどのような分野に進みたいかということはまだ決まっていません。まずは、大学での授業をしっかりと頭に入れ、国家試験に向けて毎日勉強する習慣を継続していきたいです。そして、福祉に関する仕事を調べたり、ボランティア通じて自分がどのように障がいをお持ちの方と関わっていきたくらいということを見つけていきたいです。

竹内さん

①熊本学園大学第一部社会福祉学科3年の竹内珠緒です。私は、父が脊椎損傷のために下半身不随で、母は福祉関係だったこともあり、幼い頃から福祉に触れる環境でした。そのため、福祉を学びたいと思い、今の学科に入学しました。

②精神障がいをお持ちの方の情緒面での難しさ、知的障がいをお持ちの方への説明の難しさや声掛けの難しさ等、自身との違いとサポートする重要さについて学びました。

③今回の実習で学んだ事を今後の講義で理解を深めたり、講義で学んでいた事を実習と関連づけ、来年の国家試験に向けて、より理解を深めたいです。

## 新任職員インタビュー

この度、春に入職した3名にインタビューを行いました。はたらか始めて半年が経った現在、どのような想いをもって支援に取り組んでいるのかそれぞれの声を聞いてみました！

私が今、仕事のなかで力を入れていることは、利用者の方の日常の様子をよく観察することです。普段からの関わりを通して、会話や表情、行動などから少しずつ利用者の方について理解していこうと心がけています。仕事をしていて、利用者の方から笑顔で、最近の楽しかったことや買い物に行った話をしてくれる時に私も楽しさや嬉しさを感じます。利用者の方と楽しいことを共有していけたらと思います。また、仕事の大変さについては、利用者の方が伝えたいことを把握しきれない時にもどかしさを感じます。まだまだわからないことも多いですが、先輩方を頼りにさせていただきながら、今後もコツコツ頑張っていきます。

(支援員 坂本 二千佳)



利用者の方々の普段の表情、仕草、言動の小さな変化を見逃さずいち早く気付く事が出来るように力を入れて行動しています。

普段からよくコミュニケーションを取る事で利用者の方が笑顔になったり、私に気付く嬉しそうに近づいて来ていただけたりすると、私も嬉しくなり、やりがいを感じます。

大変だと思う事は、利用者の方々の「いつも通りの生活」を毎日円滑に進める事こそが一番難しいと大変さを感じております。

これからも利用者の方に寄り添えるような支援をしていきたいと思っております。

(支援員 原 祐輔)



5月に入職し、前職と違う環境に戸惑いや不安がりましたが、先輩職員の方々にご指導や支えて頂き、日を重ねるごとに環境にも慣れてきました。利用者の方にも関わる事が出来るようになり、段々と心を通じ合わせることができ、喜びを感じられるようになりました。

利用者の方の特徴や障害の度合いなどに応じた支援が必要で、心に余裕を持ち、ペースに合わせて支援できるように取り組んでいます。まだ上手く意思疎通が出来ない時もあるので、個々のニーズやコミュニケーションスタイルを理解し、適切な支援や、看護業務でも健康チェックや発作時に冷静に対処出来る様に努めたいと思います。

(支援員兼看護師 金光 悦子)



## 新規利用者・新規職員紹介

新たにサニーサイドをご利用になる利用者の方を紹介いたします。どうぞよろしくお願いいたします。



宮下 梢 (みやした こうすえ) 様

2023年8月より施設入所、生活介護をご利用されています

4名の新規職員をご紹介します！ ①名前②所属③趣味



①村田俊宏(6月入職)  
②障がい者支援施設サニーサイド  
③さんぽ



①薄田清子(9月入職)  
②障がい者支援施設サニーサイド  
③ガーデニング



①原裕子(9月入職)  
②法人本部・事務局  
③ドラマ鑑賞



①山下貴大(10月入職)  
②障がい者支援施設サニーサイド  
③料理、ゲーム

## ご結婚・ご出産おめでとうございます

入籍

支援員 中尾 雄生さん  
2023年7月29日 入籍

誕生

主任 大森 天登武さん  
第3子 星(せい)ちゃん 誕生

誕生

支援員 山口 真衣さん  
第2子 紘輝(こうき)くん 誕生

誕生

管理栄養士 大森 晴稀さん  
第2子 晴音(はると)くん 誕生

## ■事業所・サービス紹介

友朋会では、理念「健やかでその人らしい生活の創造」のもと、利用者の皆様、ご家族、地域へ障がい福祉サービスを通じて寄り添い、貢献していきたいと考えています。この理念を達成する為、当法人では「コンプライアンス(法律順守)の徹底」、「人権の尊重」、「家族・社会との連携」、「地域移行の推進」の4つの運営方針を定め、日々の支援に取り組んでいます。



### 障がい者支援施設サニーサイド

- 【提供サービス】
- ・施設入所
  - ・生活介護
  - ・短期入所
  - ・日中一時支援



### サニーサイドワークセンター

- 【提供サービス】
- ・就労継続支援B型
  - ・計画相談支援
  - ・障害児相談支援



### アトリエSUN

- 【提供サービス】
- ・生活介護
- 障がい者支援施設サニーサイドの別館となります。アール・ブリュット活動や生活のプログラム等、新たな活動の場となっています。



### 共同生活援助事業所サニーサイド

- 【提供サービス】
- ・共同生活援助
- 男性棟1棟、女性棟2棟



■地域公益事業・・・友朋会では、以下の地域における公益的な取り組みを展開しています。

- ・生計困難者レスキュー事業
- ・サニーサイド地域福祉相談室
- ・一人住まいの高齢者訪問事業



Instagram



ホームページ

## 社会福祉法人友朋会 障がい者支援施設サニーサイド

〒861-1213  
 熊本県菊池市泗水町南田島1791-1  
 TEL 0968-38-4448  
 FAX 0968-38-2850  
 MAIL info@sunny-side.or.jp  
 URL https://sunny-side.or.jp

## Instagram始めました



@sunnyside.yuhokai

SUNNY SIDE

サニーサイド公式Instagramを開きました。

今後のイベント情報や日中活動の様子、日々の何気ない一コマなども発信していきたいと思っておりますので、ぜひご覧ください。



## スケジュール&編集後記

### ◇年度内のイベント予定

- 11月 秋まつり(内部イベント)
- 12月 クリスマス会、忘年会
- 1月 新年会、鏡開き
- 2月 節分
- 3月 ひなまつり
- 4月 春の会



### ～編集後記～

この度、妻の出産に伴って「パパ育休」を取得させていただきました。期間は6日間。夏休み中のお盆時期で、学校と保育園が休みの期間に家事育児に従事することができました。世のお母さま方の強さがどのように養われているのか、私にはわかったような気がします。決して悪い意味ではありませんよ◎

主任 大森 天登武

